

第5回 成果報告会

がんトランスレーショナル・リサーチ事業は、がん免疫療法・分子標的療法に係る基礎研究の優れた成果を次世代の革新的な診断・治療法の開発につなげるための橋渡し研究(トランスレーショナル・リサーチ)として推進し、新薬等の開発につながる成果を創出することを目的とし、5年間の活動を行ってきました。がんトランスレーショナル・リサーチ事業としての最終年度にあたり、これまでの活動を総括した第5回成果報告会を開催いたします。

2009年3月17日(火) 18:00~20:30
丸ビルホール(東京)

■主催: (財) 先端医療振興財団

参加無料 (事前申込み必要) ※詳しくは裏面をご参照ください。

申込み先 URL <http://www.ctrp.mext.go.jp/>
FAX.06-6229-2556

プログラム

- | | | |
|-------------|---|------------------------------|
| 18:00~18:05 | 開会の挨拶 | 文部科学省 |
| 18:05~18:10 | 事務局からの報告 | (財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター 村上 雅義 |
| 18:10~18:15 | 支援機関からの報告 | (財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター 永井 洋士 |
| 18:15~18:35 | 1. NKT細胞免疫系を標的にした頭頸部癌の
免疫細胞治療の開発に関する研究 | 千葉大学大学院医学研究院 中山 俊憲 |
| 18:35~18:55 | 2. 結核菌抗原類縁体を利用した癌標的免疫療法の確立
— $\gamma\delta$ 型T細胞の示す抗腫瘍作用の臨床応用— | 京都大学大学院生命科学研究科 湊 長博 |
| 18:55~19:15 | 3. ゲノム包括的探索等により同定した新規癌抗原エピトープ・ペプチドを
用いたワクチン療法の臨床研究 | 東京大学医科学研究所 田原 秀晃 |
| 19:20~19:40 | 4. 新規抗原蛋白デリバリーシステムによる多価性癌ワクチンの
多施設共同臨床研究 | 三重大学大学院医学系研究科 珠玖 洋 |
| 19:40~20:00 | 5. HB-EGFを標的とした卵巢癌標的治療法の開発 | 大阪大学微生物病研究所 目加田 英輔 |
| 20:00~20:20 | 6. ウイルス療法の臨床研究 —遺伝子組み換え単純ヘルペスウイルスを用いた
悪性腫瘍の標的治療— | 東京大学大学院医学系研究科 藤堂 具紀 |
| 20:20~20:30 | まとめと閉会の挨拶 | (財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター 福島 雅典 |

※プログラムの内容は予告なく変更される可能性があります。ご了承ください。

